改訂日　2025年 06 月 27 日　（第 4 版）

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	オロンディスウルトラ SC
デザインコード	A21591C
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104－6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX　21 階
担当部門	HSE グループ
電話番号	03－6221－1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
緊急連絡電話番号	日本中毒情報センター 中毒 110 番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪 (365 日・24 時間): 072-727-2499 つくば(365 日・24 時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(1 件につき 2000 円): 大阪 (365 日・24 時間): 072-726-9923 つくば(365 日・24 時間): 029-851-9999
推奨用途	殺菌剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 血液系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 呼吸器)
水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	H371 臓器 (中枢神経系, 血液系) の障害のおそれ。

H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (中枢神経系, 呼吸器) の障害のおそれ。

H401 水生生物に毒性。

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策 P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

応急措置 P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

P391 漏出物を回収すること。

保管 P405 施錠して保管すること。

廃棄 P501 内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

成分

化学名	CAS No.	含有量 (%)	化審法(ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号
マンジプロパミド	374726-62-2	23.0	4-(7)-2427
オキサチアピプロリン	1003318-67-9	2.7	8-(1)-3954
プロピレングリコール	57-55-6	>= 1 - < 10	2-234
1, 1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)	25265-71-8	>= 0.1 -< 1	2-413
イソプロピルアルコール	67-63-0	>= 0.1 -< 1	2-207 2-(8)-319
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	>= 0.0002 -< 0.0025	7-475

4. 応急措置

一般的アドバイス　　緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。

吸入した場合　　被災者を空気の新鮮な場所に移す。

呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。

	患者を暖かく安静にしておく。
	直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。 直ちに多量の水で洗い流す。 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡すること。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	直ちに、最低 15 分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。
	コンタクトレンズをはずす。
	直ちに医師の診察を受ける必要がある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特定されていない。 知られていないか予想されない症状。 臓器の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
医療関係者への情報	専用解毒剤は入手できない。
	対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時:	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。
	大規模火災時:	耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。	
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生する(「10. 安定性及び反応性」参照)。	
	分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。	
有害燃焼副産物	炭素酸化物	
	窒素酸化物(NOx)	
	フッ素化合物	
	硫黄酸化物	
	塩素化合物	
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。	
	水を噴霧して密閉容器を冷却する。	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項　安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。
河川または下水システムに排水しない。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め、浄化の方法及び機材

除去方法　漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目「13. 廃棄上の注意」を参照）。
汚染面を十分に浄化する。
洗剤で拭く、溶剤は避ける。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項　火災に対する特別な対策は必要ない。
皮膚や眼への接触を避けること。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
個人保護については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。

接触回避　知見なし。

保管

安全な保管条件　特別な保管条件は必要ない。
容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。
子供の手の届かないように保管すること。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標（ばく露形態）	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
マンジプロパミド	374726-62-2	TWA	5 mg/m^3	シンジェンタ社
オキサチアピプロリン	1003318-67-9	TWA	5 mg/m^3	供給元
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACL	200 ppm	安衛法（管理濃度）
		OEL-C	400 ppm 980 mg/m^3	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	400 ppm	ACGIH

生物学的職業ばく露限度

成分	CAS番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
イソプロピルアルコール	67-63-0	アセトン	尿	週の後半の作業終了時	40 mg/l	ACGIH BEI

設備対策	ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる 。 保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。 空気濃度を職業ばく露基準以下に保つ。 必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求める。
保護具	
呼吸用保護具	通常、呼吸用保護具は必要ない。 労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用すること。
手の保護具	特別な保護具は必要ない。
眼の保護具	特別な保護具は必要ない。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	特別な保護具は必要ない。 実際の作業内容やその危険性に基づいて、皮膚及び身体の保護具を選択すること。
保護対策	個人用保護具ではなく技術的対策を優先する。 個人用保護具ではなく専門の保護具の使用を優先すること。 個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求める。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	類白色(懸濁液)
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	データなし
引火点	引火しない(方法: ペンスキーマルテンス密閉式引火点試験)
分解温度	データなし
pH	7.68 (含有量: 1 %w/v)
蒸発速度	データなし
自然発火温度	460℃
粘度	
動粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし

n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度	1.0159 g/cm^3 (25℃)
相対ガス密度	データなし
爆発特性	爆発性なし
酸化特性	酸化性物質としては分類されない。
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合

急性毒性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.33 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

成分

マンジプロパミド

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.19 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト

	アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,050 mg/kg

オキサチアピプロリン

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.1 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

プロピレングリコール

急性毒性(経口)	LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg この物質または混合物は急性の経口毒性はない。
急性毒性(吸入)	LC50 (ウサギ): 317,042 mg/l ばく露時間: 2 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

1, 1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)

急性毒性(経口)	LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	(ラット): アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ウサギ): > 5,010 mg/kg

オクタメチルシクロテトラシロキサン

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オス): > 4,800 mg/kg この物質または混合物は急性の経口毒性はない。
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): 36 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): 約 2,375 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

製品

種	ウサギ
結果	皮膚刺激性なし。

成分

マンジプロパミド

種	ウサギ
結果	皮膚刺激性なし。

オキサチアピプロリン

種　ウサギ

結果　皮膚刺激性なし。

プロピレングリコール

結果　皮膚刺激なし。

1，1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)

種　ウサギ

結果　皮膚刺激なし。

オクタメチルシクロテトラシロキサン

種　ウサギ

結果　皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品

種　ウサギ

結果　眼刺激性なし。

成分

マンジプロパミド

種　ウサギ

結果　眼刺激性なし。

オキサチアピプロリン

種　ウサギ

結果　眼刺激性なし。

プロピレングリコール

結果　眼刺激性なし。

1，1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)

種　ウサギ

結果　眼刺激性なし。

イソプロピルアルコール

種　ウサギ

結果　眼への刺激、21日以内に回復。

オクタメチルシクロテトラシロキサン

種　ウサギ

結果　眼刺激性なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品

試験タイプ　局所リンパ節増殖試験（LLNA）

種　マウス
結果　皮膚感作性なし。

成分

マンジプロパミド
種　モルモット
結果　皮膚感作性なし。

オキサチアピプロリン
種　モルモット
結果　皮膚感作性なし。

プロピレングリコール
結果　皮膚感作性なし。

1，1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)
種　モルモット
結果　動物実験では感作性なし。

オクタメチルシクロテトラシロキサン
種　モルモット
結果　皮膚感作性なし。

呼吸器感作性
データが不足しているので分類されていない。

生殖細胞変異原性
データが不足しているので分類されていない。

成分

マンジプロパミド	動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
オキサチアピプロリン	動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
プロピレングリコール	動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
1，1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)	In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。
イソプロピルアルコール	In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。
オクタメチルシクロテトラシロキサン	動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

発がん性
データが不足しているので分類されていない。

成分

マンジプロパミド	動物実験において発がん性の証拠はない。
オキサチアピプロリン	動物実験において発がん性の証拠はない。
プロピレングリコール	動物実験において発がん性の証拠はない。
オクタメチルシクロテトラシロキサン	動物実験において発がん性の証拠はない。

生殖毒性
データが不足しているので分類されていない。

成分

マンジプロパミド	生殖に対する毒性はない。
オキサチアピプロリン	生殖に対する毒性はない。
プロピレングリコール	生殖に対する毒性はない。授乳への、および授乳による影響はない。
オクタメチルシクロテトラシロキサン	動物実験によると性的機能および繁殖力への悪影響があることが一部立証されている。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

臓器 (中枢神経系, 血液系) の障害のおそれ。

成分

オキサチアピプロリン	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。
プロピレングリコール	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。
イソプロピルアルコール	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、麻酔性効果を伴う区分 3 に分類される。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (中枢神経系, 呼吸器) の障害のおそれ。

成分

オキサチアピプロリン	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
プロピレングリコール	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
オクタメチルシクロテトラシロキサン	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

プロピレングリコール	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 80 mg/l ばく露時間: 96 h EC10 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 11 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 96 h

成分

マンジプロパミド

魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 4.4 mg/l ばく露時間: 96 h LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 8.63 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 7.1 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (アメリカガキ(牡蠣)): 0.97 mg/l ばく露時間: 96 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 2.5 mg/l ばく露時間: 72 h 最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 1.3 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h
M-ファクター (水生環境有害性短期(急性))	1
魚毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.5 mg/l ばく露時間: 32 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.076 mg/l ばく露時間: 21 d
M-ファクター (水生環境有害性長期(慢性))	1
微生物に対する毒性	EC50 (活性汚泥): > 100 mg/l ばく露時間: 3 h
オキサチアピプロリン	
魚毒性	LC50 (Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): > 0.65 mg/l ばく露時間: 96 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 0.142 mg/l ばく露時間: 72 h
魚毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.46 mg/l ばく露時間: 88 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.75 mg/l ばく露時間: 21 d 最大無影響濃度 (Americamysis (アメリカミシス)): 0.058 mg/l ばく露時間: 32 d
M-ファクター (水生環境有害性長期(慢性))	1
環境毒性アセスメント	
水生環境有害性 短期(急性)	本製品には既知の生体毒性はない。
プロピレングリコール	
魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 40,613 mg/l ばく露時間: 96 h 試験タイプ: 止水式試験
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 18,340 mg/l ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 19,000 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ニセネコゼミジンコ)): 13,020 mg/l

	ばく露時間: 7 d 試験タイプ: 半静止試験

オクタメチルシクロテトラシロキサン

魚毒性	(Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): > 0.0063 mg/l ばく露時間: 336 h 溶解度限界値における毒性なし。
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Mysidopsis bahia (ミシドプシス・バヒア)): > 0.0091 mg/l ばく露時間: 96 h 溶解度限界値における毒性なし。
藻類／水生生物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 0.022 mg/l ばく露時間: 72 h 溶解度限界値における毒性なし。
魚毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): >= 0.0044 mg/l ばく露時間: 93 d 溶解度限界値における毒性なし。
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): >= 0.0079 mg/l ばく露時間: 21 d
M-ファクター (水生環境有害性長期(慢性))	10

残留性・分解性

<u>成分</u>

マンジプロパミド

生分解性	易分解性ではない。
水中での安定性	分解半減期: 4.5 - 26 d 備考: 製品は持続性ではない。

オキサチアピプロリン

生分解性	易分解性ではない。

プロピレングリコール

生分解性	易分解性。

イソプロピルアルコール

生分解性	易分解性。

オクタメチルシクロテトラシロキサン

生分解性	易分解性ではない。

生体蓄積性

<u>成分</u>

マンジプロパミド

生体蓄積性	低い生態蓄積性。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	log Pow: 3.2 (25 ℃)

オキサチアピプロリン

生体蓄積性	生物濃縮されない。

オクタメチルシクロテトラシロキサン

生体蓄積性	高い生態蓄積性。

土壌中の移動性

<u>成分</u>

マンジプロパミド

環境中の分布	地中において低移動性。
土中での安定性	消失時間: 26 - 178 d 消失割合: 50 % (DT50)

製品は持続性ではない。

オキサチアピプロリン

環境中の分布　地中において低移動性。

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

成分

マンジプロパミド

PBT および vPvB の評価結果　物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

オキサチアピプロリン

PBT および vPvB の評価結果　物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

イソプロピルアルコール

PBT および vPvB の評価結果　物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

オクタメチルシクロテトラシロキサン

PBT および vPvB の評価結果　物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 廃棄物を下水へ排出してはならない。 可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。 リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。
汚染容器及び包装	残りの内容物を空にすること。 容器は 3 回すすぐ。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号	UN3082
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (MANDIPROPAMID, OXATHIAPIPROLIN)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送(IATA-DGR)

国連番号	UN3082
国連輸送名	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (MANDIPROPAMID, OXATHIAPIPROLIN)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル (Labels)	Miscellaneous
梱包指示(貨物機) (Packing instruction (cargo air-craft))	964
梱包指示(旅客機) (Packing instruction (cargo air-craft))	964
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号	UN3082
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (MANDIPROPAMID, OXATHIAPIPROLIN)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
EmS コード (EmS Code)	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照。

緊急時応急措置指針番号 171

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号 第 24164 号

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
プロパン－1，2－ジオール	106
1，1′ －オキシジ(プロパン－2－オール)	240
イソプロピルアルコール	102

監視化学物質

化学名	番号
2，2，4，4，6，6，8，8－オクタメチル－1，3，5，7，2，4，6，8－テトラオキサテトラシロカン	40

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量(%)	備考
プロピレングリコール	>= 1 - < 10	―
プロピルアルコール	>=0.1 - <1	―

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
プロピレングリコール	―

皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送	有害液体物質(Z 類)
個品輸送	海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。